

## 情報連絡員報告・4月分

## 米国牛入荷停止、鳥インフルエンザの影響・深刻

## ～製造業の「業界の景況」DI値、水面目前～

&lt; 東京都中央会 &gt;

4月の情報連絡員報告によると、米国牛の輸入停止の影響と鳥インフルエンザの影響が深刻であることが明らかになった。企業の経営ミスではないだけに気の毒だ。全体的な数字は、前月と同様だが製造業の「業界の景況」前年同月比DI値が水面を目前にして、足踏み状態に入ってしまった。非製造業の売上高が若干改善してきているので、条件次第では水面に浮上するのではないだろうか。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計。

## &lt; 特記事項欄より &gt;

食肉業務用卸=BSE問題で、米国牛の入荷が止まっていることは原材料高止まりとなり、収益に多大の悪化を招く原因となっている。

食鳥鶏卵販売=鳥インフルエンザは業界全体に大きな影響を及ぼし、京都府丹波町の養鶏場のインフルエンザ発生とともに売上高も前年対比50～60%にダウンした。現在は、マイナス10～15%に落ち着き始めている。

洋紙卸=4月の売上は、前年同期比4.3%増であったが、内容は商品単価が、8.9%落ち込んだものの、数量が

14.5%増加したことによる。低価格、高品質の商品開発・市場投入等の必死の努力で現状を維持している。

伸銅品卸=IT業界から、デジタル家電に需要家の気持ちは乗り移っている。素材メーカーとしては、電子部品用材料が好調で、納期もタイトである。

豆腐製造小売=多忙な消費者は、スーパー等で一極集中買いをする。我々町の店も努力しているが、専門店に足をのばしてもらえない。

新宿専門店=個人消費は引き続き低迷、未だ景況の回復感はなく、売上、収益とも対前年比減少の傾向が続いてい

る。特に、飲食関係が低迷している。

電気製品小売=消費税の総額表示で、家電量販店では安さを訴えるため、従来価格で消費税込みにしたりポイントを積み増したり、量販店間の低価格競争はエスカレートしており、中には中小電気店の仕入れ価格よりも安い売価もある。逆ざや現象が拡大傾向にある。

米穀小売=なるべく在庫を持たないようにしています。価格の動向が読めず、あまり多くの在庫を持つことは、値段が下がったときに大きな影響を受けることから適正な在庫を持つように連絡しています。

複写業=業績を伸ばしている企業と低迷している企業の二極化が見られる。こんな中でも、販売価格の低下は続く。

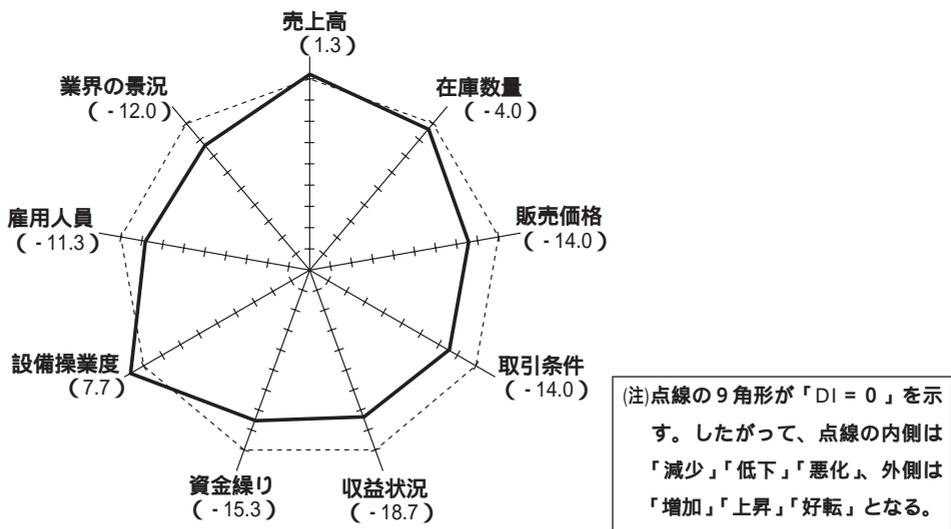
<要望事項欄より>

\*パートタイマーに対する厚生年金適用拡大に反対するため、日本フードサービス(協)をはじめ日弁協などが反対決起集会を開催する。弁当業界は配達、調理補助の人等ほとんどがパートで、この案が通ったら会社の財政に響くことは間違いない。「見送り」の報道がなされているが今後の行方はどうなるのか注目している。 [弁当製造]

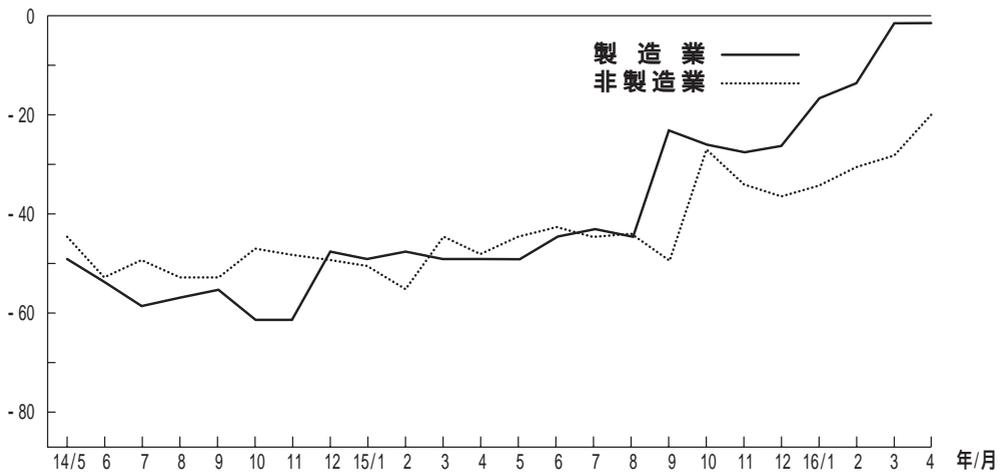
\*最近、金融機関の貸し渋りが強くなったとの意見が聞かれる。東京都の新銀行が中小企業のためにたよりになるのを願っている。 [砕石業]

\*中小企業を視野に入れた景気対策を願いたい。 [建築金物製造]

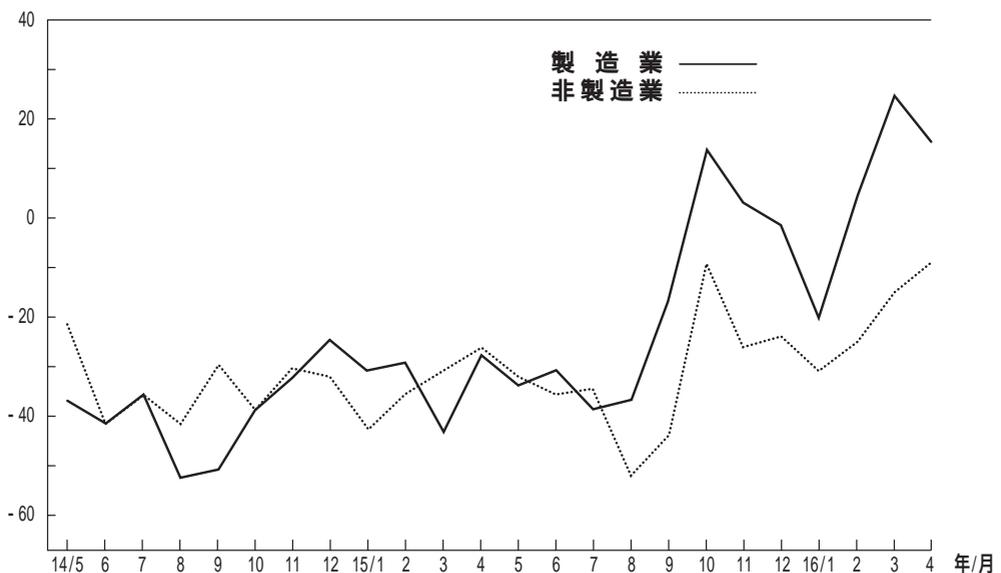
4月のレーダーチャート(全産業、前年同月比DI値)



業界の景況DIの変化（H14.5～H16.4）  
（前年同月比）



売上高DIの変化（H14.5～H16.4）  
（前年同月比）



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。